



訪問ネットサービス師

梅尾、馬瀬、野明、斎藤

日本が抱える問題

現在、日本では少子高齢化が広まっていることが大きな問題となっています。また、地方では若者の多くが大都市へ移住していくことで地方の人口が減少したり、高齢化が進んでいくことが深刻な課題となっています。



都道府県別高齢化率の推移

	令和3年 (2021)			令和27年 (2045)		高齢化率の伸び (ポイント)
	総人口 (千人)	65歳以上人口 (千人)	高齢化率 (%)	高齢化率 (%)	高齢化率 (%)	
	北海道	5,183	1,686	32.5	42.8	10.3
青森県	1,221	419	34.3	46.8	12.5	
岩手県	1,196	409	34.2	43.2	9.0	
宮城県	2,290	655	28.6	40.3	11.7	
秋田県	945	360	38.1	50.1	12.0	
福島県	1,812	585	32.3	44.2	11.9	
長野県	2,033	657	32.3	41.7	9.4	
奈良県	1,315	423	32.1	41.1	9.0	
徳島県	712	247	34.7	41.5	6.8	
愛媛県	1,321	444	33.6	41.5	7.9	
高知県	684	245	35.9	42.7	6.8	
長崎県	1,297	435	33.6	40.6	7.0	
鹿児島県	1,576	521	33.1	40.8	7.7	
千葉県	6,275	1,748	27.9	36.4	8.5	
東京都	14,010	3,202	22.9	30.7	7.8	
神奈川県	9,236	2,376	25.7	35.2	9.5	

内閣府（2022）令和四年版高齢社会白書をもとに総務省が作成した資料によると令和三年度の高齢化率は20%～30%代なのに対し、令和27年度の高齢化率は首都圏で30%代、地方では40%～50%代とかなり高く予想されています。このことから将来地方での高齢化が深刻になることがわかります。

地方では人口の半分
以上が高齢者！？

地方で暮らす高齢者の困りごと

人口が少ない地方では、医療従事者も少なく十分な医療サービスが受けられること。また、自分の家族と顔を合わせる機会が少ないとといった問題があります。

これらの問題は以前から言われており、そのためにインターネットを使用したサービスの提供が行われています。

しかし！！

オンラインサービスの
使用方法が分からぬ

パソコンやスマホに
慣れていない

新たな課題が...

この問題が解決できる職業？

オンラインサービスの使用方法がわからない

→人が家まで来てくれたらわかりやすい/うれしい

パソコンやスマホに慣れていない

→機会に触れる前から難しいと感じている/苦手意識



若い世代の人が興味を持ち
高齢者の助けになるもの



若い世代&高齢世代にwinwinである

訪問ネットサービス師
を提案します

訪問ネットサービス師①

訪問ネットサービス師の概要

オンライン診療や遠くに住む家族とのビデオ通話をはじめとしたあらゆるオンラインサービスを使用する際の手助けをします。

このサービスの特徴

実際にご自宅まで訪問して、インターネットの接続を行ったり、目の前でやり方を説明する。

訪問ネットサービス師② メリット

わからないことがあったらすぐ聞ける

広い世代との交流関係ができる

寂しくない/笑顔になる

まとめ

私たちは少子高齢化を食い止めるることはもちろん大切ですが少子高齢化が進む中でも暮らしやすい社会を作っていくことも必要だと考えました。この訪問ネットサービス師という職業が導入されることで少しでも地方で暮らす高齢者の方の笑顔につながると良いと考えています。

出典：著作権フリー素材

総務省 | 令和4年版 情報通信白書 | 地方における少子高齢化 (soumu.go.jp)